



シルバーだより
もとみや



自岩浮島神社 大々神樂 演目：岩戸楽
天の岩戸を開く、天手力男神 (アメノタチカラオノカミ)

10号

■発行日/平成26年1月1日 ■発行所/公益社団法人本宮市シルバー人材センター
■住所/本宮市本宮字太郎丸112-8 ■電話/0243-34-5226
■E-mail: silver-motomiya@cameo.plala.or.jp ■URL: http://www.silver-motomiya.com/



年頭あいさつ

理事長 根本 守



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、心健やかに新春を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

公益社団法人への移行から三年目を迎え、公益法人として、地域貢献に努め、情報開示を基本として会員の皆様の自主的な参画をいただき法人運営に努めてまいります。

また、センター事業の活性化は、会員・役員がそれぞれの役割を認識し、「普及啓発活動」、「入会促進」、「就業開拓」、「調査研究」の活動を推進するとともに、会員の安全就業を最優先に、自主的活動による「安全・適正就業推進大会」を継続的に開催し、会員の安全対策に努めてまいります。

会員の皆様が心身ともに健康で生きがいのある自立した人生を送るとともに就業の機会を活かし、地域社会に貢献が出来るよう事業推進に努めてまいります。また、就業にあたっては、シルバー人材センターの目的に誇りを持ち、社会奉仕と共働・共助の基本理念の下、誠実に責任をもってお客様のニーズに応え、就業することをお願い申し上げ、年頭の挨拶といたします。

新年のあいさつ

本宮市長 高松 義行



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

平成十九年に設立されました本宮市シルバー人材センターも

新年のあいさつ

本宮市議会議長 作田 博



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

旧年中は、市議会に対する深いご理解と多大なるご協力を賜

七年目を迎え、これまで高齢者の就業機会の提供を通じ、会員が健康で働き、生きがいを得ることや地域社会の活性化に貢献してこられました理事長様をはじめ関係各位に對しまして、改めて感謝を申し上げます。

さて、平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から間もなく三年の月日が経とうとしています。依然として厳しい状況は続いておりますが、この間、災害復旧と放射能除染対策に取り組み、住宅除染については来年度には全ての地区の発注を行う予定であり、震災からの復興のスピードアップを図

り、心よりお礼申し上げます。

少子・高齢化がますます進む中で、地域社会の活力を維持し発展させていくためには、高齢者の方々がこれまでの豊富な経験を生かして、健康で働き続けながら、社会の担い手として活躍できる社会をつくっていくことが極めて重要であります。

貴センターが「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、健康で働く意欲のある高齢者の就業の確保や生きがいの創出など、地域社会の活性化に大きく寄与されているだけでなく、会員皆様方の誠実な仕事内容が評価され、着実に事業の成果を上げられていることに対しまして、心

り、「福島へのそのまち」もとみやの安全安心を広く発信し、一日でも早く元気な本宮を取り戻したいと考えております。

役員並びに会員の皆様におかれましては、豊かな経験と知識を活かし、今後も高齢者の生きがいづくりと地域社会の活性化のために、より一層充実した事業運営が展開されますことをご期待申し上げます。

結びに、公益社団法人本宮市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸、合わせて今年一年が輝かしい年となります事を心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

から敬意と感謝の意を表します。

さて、市議会では開かれた議会の状況や市民の皆様へ直接報告し、ご意見をいただく場として「市民との意見交換会」を昨年11月から新たに開催致しました。今年1月、2月に6会場で開催いたしますので、ぜひご参加いただき、ご意見をお聞かせ願いたいと存じます。

結びに、今後とも市議会に対する皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、貴センターの益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

末長く友好交流を

上尾市SC研修

九月二十五日に役員の研修として、先進地の埼玉県上尾市SCを訪問いたしました。

上尾市は、東日本大震災以降、本宮市に対しさまざまな支援と継続的な友好をいただけてきました。

七月の、友好都市協定には、当市シルバーの役員も参加させていただきました。

研修当日は、大変ご多用の折、上尾市シルバー人材センターの名誉会長である上尾市長島村様が大変な思いに少しでも役立てるため支援を行った経過と今後の市民の繋がりを大切にして行きたい旨の歓迎のあいさつをいただきました。

小川長流理事長、柿崎宏男副理事長、高橋昭雄専務理事、小國榮一理事、北川



上尾市長 島村様



理事長あいさつ

和孝事務局長にご指導いただきました。

会員は、約一千三百名、粗入会率は、

一・九五%、契約金収入額は、七億一千

三百六十万円、基本方針は、

・安全就業の徹底

・会員研修とSP講習会の実施

・家事援助サービス事業の拡大

三点を柱として活動しています。

昭和五十九年高齢者事業団を設立し、

六十三年に社団法人法人設立して、三十

年の歴史ある活動を進めて来られたSC

で事業運営、会員の意識の高さに目を見

張るものがありました。

また、会員の安全就業に尽力され安全

就業の自立を重点に事業推進しているこ

とは、当センターの今後の課題に大変参

考になりました。

研修後、上尾市の役員の皆様と交流会

を行い、より一層の親睦と今後、市と同

様の友好をお願いいたしました。

適正就業委員会

十月十七日に適正就業の県内先進地である須賀川市SCを研修のため訪問いたしました。

大変ご多用の折、遠藤和司理事長、安全管理委員会委員八名の方、橋本正志常務理事兼事務局長にご指導いただきました。

長期就業の是正については、公共、公益法人等就業基準により、就業期間、就業年齢を定め実施しておりますが、受注者から就業に慣れた会員を要請されることもあり、会員が増えないことによる交替者の人選が大変な状況にあり、会員の増員が課題となっていること。

また、補助金が下がり、大変な状況にありますが運営努力を行っており、今後のシルバー人材センターとしてのあり方等の現況と運営実状を研修させていただきました。

今後の会運営に向け大変勉強になりました。



影山副委員長あいさつ

事業推進に関する活動計画

第2期シルバー人材センター事業活性化計画（平成23年度～平成26年度）に定める計画目標達成を図るため、次のとおり活動計画を定め事業の活性化に努めるものとする。

項 目	計 画 目 標
会 員 数（ 人 ）	200人
受 注 件 数	570件
契 約 金 額	8,500万円

1. 普及啓発活動

- * シルバー事業を広く正しく地域社会に浸透させるため、会員自身が本事業の仕組みについて正しく理解すべく意識改革に努める。
- * 地域において日常のあらゆる機会を活かし普及啓発活動に日々努める。
- * その他機会を活かし知人・友人にシルバー事業のPRを積極的に努める。
- * シルバー事業運営に関する各種研修会に積極的に参画し意識改革に努める。

2. 入会促進活動

- * 地域において日常のあらゆる機会を活かし入会促進活動に日々努める。
- * 機会あるごとに知人・友人に入会促進のPRを積極的に努める。
- * 会員に募集依頼をお願いする。

3. 就業開拓活動

- * 日常のあらゆる機会を活かし地域に潜在している会員にふさわしい仕事を開拓し、「共働・共助」の理念の下、互いに会員の就業機会の拡大に努める。
- * 機会あるごとに知人・友人等にPRし、会員の就業機会の確保に努める。
- * 会員は、シルバーの目的に賛同し入会した者で、定款、会員就業規則に反する行為を行うことは会員の資格要件に係るため、会員の不正防止に努める。
- * 配分金の水増しや架空就業による不正な需給防止に努める。
- * 就業中の売上金の不正受領や利用券等の数の不正処理防止に努める。
- * 事業の仕組みは、シルバーが契約した仕事を、会員が引き受け責任をもってその仕事を履行し配分金を受け取ることができるものであり、シルバーを通さず、個人で請負又は他に勤務し、その対価を着服する行為は、会員の資格要件に係るため、会員の不正防止に努める。

4. サービス向上に向けて

1. 発注者との責任ある連絡の確保
2. 作業は「礼」に始まり「礼」に終わる
3. 作業前に隣接者にも「礼」を尽す
4. 社会参加に喜びを持つ
5. 作業は感謝と誇りをもって履行する
6. 作業履行後のアフターケアの励行

※ 計画書の詳細は、別冊により配付します。



就業開拓(事業所訪問)

仕事の開拓活動はシルバーが取り組む重要な活動です、会員・役職員がそれぞれの役割に応じて仕事の開拓を推進することが大切になります。

既存の発注者に対するアフターケアを徹底し、又今まで発注を受けたことのない事業所を個別訪問するなど、センターの仕組みをより一層浸透させるため就業開拓活動を行ないます。

また、シルバーの仕事が地域に潜在しているかどうかの調査や、独自事業実施の研究することなど、柔軟な発想を持って積極的に取り組むことが事業の発展・拡充につながります。

- 1 実施日時 10月30日 水曜日
- 2 参加者 理事・企画研修委員会委員
- 3 訪問事業所の選定
現在、会員が就業している事業所と今まで就業していない事業所に分け訪問を行う。

シルバーのお知らせ

(普及啓発活動実施)

シルバー事業の基本的な理念及び仕事の仕組みを広くかつ正しく地域社会に浸透させることが事業推進には大切です。

組織体が持続的、また長期的な基盤に立って、地域住民の信頼と理解を得るため、普及啓発活動を積極的に進めるため、大型店舗でのチラシ等の配布による周知活動を行いました。

- 1 実施日時：10月18日 金曜日 午後3時00分から
- 2 参加者：理事・広報委員会委員
- 3 配布品：シルバー紹介のチラシ等
- 4 配布店舗：次の店舗の御好意により実施しました。
 - ① ヨークベニマル インター店(荒井地内)
 - ② シミズストアー (高木地内)



加齢への変化と心の健康

※加齢に伴う性格の変化

高齢者の性格は、わがまま、短気、嫉妬、ひがみ、ぐちっぽい等思われますが違います。性格は、成人期までに形成されますが、年と共に少しずつ変化します。

- 一、若い頃の性格が年とともにますます自立つ(拡大・先鋭)、
 - 二、若い頃の性格と反対の特徴を帯びる(反動)、
 - 三、若い頃の性格が目立たなくなる(円熟)
- の三つに分類されて、「喜怒哀楽」が現れます。

男性の攻撃的・支配的から受動的・養育的に、女性の従順・消極的から自己主張・積極的に変化し、性格特徴が変化するとも言われています。

※社会的側面からの影響

職業を生きがいに肩書きを重要にしていた人ほど、会社以外の人間関係に乏しく、地域社会に溶け込めない事が多く地位の喪失感は、非常に大きくなります。

仕事にまかせて、家庭をかえりみない場合、老後の夫婦生活に気持ちのズレが大きくなります。

※家族関係の変化によるストレスの解消方法

子供の養育の終了が親としての役割の終了、ある種の喪失を「空の巣症候群」と言い、不安定、不適応が生じ、ストレスがたまる原因となります。

そのストレスを解消するには、日常生活の目先を替えるのが最善と言われています。

好きなものは誰でもあります、このことをより深く探求すると新たなことが見えてきます、そこが解消方法の基本となります。

一月の三十日を十日は、自分のために、十日は、家族のために、残りの十日は、社会のために、シルバーでの就業、町内会に参加等やる気ならいっぱいあります。

何もしないとストレスがたまり「うつ病」の危険性が迫ってきますからご注意ください。

浪江町の皆さんも参加した健康講座

健康講座

十月六日、健康講座を開催いたしました。

講師に渡辺クリニック院長の渡辺英夫先生をお招きして「自分の健康は、自分で守る」と題してご講演をいただきました。

当日は、老人福祉センター周辺にお住まいの浪江町の皆さんもご参加いただきました。

講演では、認知症のお話をいただきました。

認知症かな、と少しでもおかしいと思ったら、ためらわずに医師に相談することが大切、早期に発見・治療することが進行を遅らせるポイントとのこと。

「自分の健康は、自分で守る」 PPK (びんびんころり) が理想ですねと先生からの言葉。

最後に、受講者に認知テストを行いました。さて、参加者の皆さん得点は、何点でしたか。

都合により参加出来なかった会員の方には、研修会の資料がありますので事務所にお出でください。



認知症の早期発見のめやす

日常の小さな変化に気づくのは、家族です。日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動や行動、症状をチェックしてみてもいい。

物忘れがひどい

- * 電話が終わり、今誰と話したか相手の名前を忘れる
- * しまい忘れ、置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- * お金、財布、衣類など盗まれたと人に言う

判断・理解力が衰える

- * 料理、片付け、計算などミスが多くなる
- * 話しのつじつまが合わない、同じことを何度も言う
- * テレビ番組の内容が理解できなくなる

時間・場所がわからない

- * 約束した日時や場所を間違えるようになった
- * 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- * 些細なことで怒る
- * 周りへの気遣いが無くなる
- * 自分の失敗を人のせいにする

不安感が強い

- * 一人になると怖がったり寂しがったりする
- * 外出時に、持ち物を何度も確かめる

意欲が無くなる

- * 下着を替えず、身だしなみが構わなくなる
- * 趣味や今まで好きな番組に興味を示さなくなる
- * 小さなことで何をするのも嫌がる

渡辺英夫先生からいただきました資料から作成

手工藝事業に参加を

代表 渡辺 功

会員の新たな就業機会場の場として、手工藝事業を始めました。企画研修委員会が会員の物作りの出来る方の参加を募りました。

九名の方が参加し、三月には、駅前の「きてみつせい」に販売ブースを設置し、木製がん具、陶芸、紙折、工芸品等の作品を展示し、販売いたしました。毎月、少しですが売上があります。三月の彼岸には、彼岸花の販売、八月には、お盆の花竹筒の販売をいたしました。また、お正月には、門松の販売を予定しています。

年齢が上がり、体力的な就業が出来なくなってきた。年齢が上がり、体力的な就業が出来なくなってきた。年が上ると、体力的な就業が出来なくなってきた。年が上ると、体力的な就業が出来なくなってきた。年が上ると、体力的な就業が出来なくなってきた。

花竹筒製作では、仕上げの竹を布で拭く作業の方が不足し、手伝いの方が欲しいと感じました。販売精算の後に、楽しい反省会を実施しました。

手先の器用な方、まだまだ体を動かしたい方、「世忘れ」にならないよう努力している方、若い物にはまだまだ負けないうと自負している方、物作りに興味のある皆さんの参加をお待ちしています。



花竹筒製作

みんなの広場

無事故の表彰に感謝



國分 大

七月十五日 第一回の安全・適正就業推進大会で、十年以上無事故就業会員として、優良表彰を受けました。

大変名誉なこととありがたく思っております。

平成七年に、会に入会して十七年になります。

入会当初は、行政からの草刈り依頼の就業が多く、五人から十人の仲間での就業をしてました。

刈払機で、会員同士の事故に遭遇し、機械の取り扱いの重要性を感じて、会での取り扱い講習会を開いてもらいました。今でも機械取扱講習会は、大切な事業だと感じております。

自分では、斜面の草刈りは、踵に重心を置き、足場をしっかりと確保して行ってきました。

今まで無事故で来られたのも仲間のお陰だと思っております。

秋の就業が落ち着くと親睦会に参加し、友好を深めそれが仕事への「共働」「共助」に繋がり、安全就業の原点になってきているのかと思います。

今後とも安全に就業を心がけて励んで行きたいと思っております。

「みんなの広場」の原稿募集

この頁は、会員の皆さんが投稿により、日頃思うこと、旅行紀行、俳句、川柳等自由にお使いください。

普通の生活が大切です



前田 哲子 (特例会員・浪江町)

二十三年三月十一日午後二時四十八分、突然の大地震発生、浪江中学校に避難。

一夜を明かした朝に、東京電力の事故発生で津島に移動し、四日経過してから、二本松の杉田住民センターに移動し一ヶ月生活しました。

避難の時は、二、三日で家に帰れると思いの身着のまま移動しましたから着る物に困り、当初は、寒い時期で、灯油が無く寒さを凌ぐに大変でした。

その後、沼尻温泉に移り、生活が安定し半年を過ごして、本宮の仮設住宅に移りました。

自分の家とは違い、狭い住まいですが、他の仮設より作りがしっかりしており、大型スパーも近く、交通の便も良く、地域の皆さんから親切にしてください住むには良いところです。

本宮は、場所も地名も来るまでは知りませんでした。

住まいに慣れて落ち着き、心の余裕が出来ましたので、シルバーの会員に混ぜていただき、籠を作り、月一個程度の販売させていただき、大変うれしく思っております。

何もなく普通の生活だった前の生活が、いかに大切に懐かしい事だったと思いませんし、これからも、シルバーの会員として多くの人と付き合い、がんばって行こうと考えております。

会員互助会だより

一泊旅行



- ①開催日 十一月二十一日(木)〜十一月二十二日(金)
- ②行き先 スカイツリー、鹿島神社
- ③参加人数 会員二十三名 事務局一名 計二十四名

《感想》

晴天に恵まれ秋の清々しい天候、最高の見晴らしスカイツリーからの霊峰富士山、宿からの夕日の富士山、朝日の富士山。心晴れ晴れの富士山を拝むことができました。

素晴らしい紅葉と厳かな鹿島大神宮、晩秋の茨城路を満喫長生きが出来た楽しい旅行をいたしました。

奉仕活動

10月6日、全国一斉「シルバー人材センター普及啓発促進月間」事業として、「みずいる公園」、「白沢老人福祉センター」の除草、投棄物回収等、会員80名が参加し、環境美化の地域奉仕活動を実施いたしました。



安全就業 「標語募集」

1 目的

二十六年の当センターの安全意識の向上と安全就業のため、会員の皆さん「標語の募集」を行います。

2 募集対象者 会員全員

3 募集標語 自由とします

4 募集期日 二月末日

5 審査委員

理事及び各委員会の代表

6 審査期日 三月中に予定

7 賞基準

最優秀賞

一件 図書券五千円程度

優秀賞

二件 図書券二千円程度

佳作

図書券一千円程度

8 表彰 安全・適正就業推進大会の席上

9 使用

「安全・適正就業強化月間」
二十六年七月一日から使用

(例) 現在の標語

「安全は 慣れた仕事も

油断せず」

「会員募集に協力を」

当センターの会員入会率は、一・七%と県平均より五ポイント低い加入率です。

二十四年度の就業率は、一〇〇%で会員全員が就業した事になります。草刈りは、常に人員不足のため依頼された就業が大幅に遅れる大変な状況にあります。

会員の皆さんの知り合いで、経験豊富な就業意欲のある方を紹介してください。

《入会説明会》

三月四日 火曜日 午前十時
センター事務所

新会員加入者名

二十五年七月から二十五年十二月

安達 明美	本宮第三班
鳥井 信治	本宮第五班
渡辺 タカ子	本宮第五班
川名 健公	本宮第二班
矢野 とめ子	本宮第二班
三瓶 初江	白沢第二班
柏谷 いみ子	本宮第二班
明石 末雄	本宮第四班
佐藤 ノブ子	白沢第二班
菊地 民	本宮第二班

会報づくり研修

講師からの言葉

福島民報本宮支局長 田中 敏啓様

《改善策》

* 1頁の写真に説明、由来、メールアドレスを入れ意見を聴けるようにしては、

* 頁毎に何のコーナーかを示す

* 見出しを付けてみては、

* 写真が少なく

* 会員の方に必要な情報を掲載しては、

《まとめ》

* 会員の名前を出して掲載しては、
* 期日を指定しないで原稿を集めてはどうか
* 地域班のリレー掲載をしてはどうか
* 会員の写真展を開いては、どうか

《改善策》

福島民友本宮支局長 橋本 昌紘様
* 文字を大きく、要点を絞って
* 会員の情報交換の場にしては
* 写真の位置に注意
* 短い文への改善、起承転結の文作り
* 読みやすい記事へ

《まとめ》

* 会員の方の発表の場を多くしてはどうか、名前がでると喜ぶのでは
* 会員活動を多く掲載してはどうか

訃報

本宮第三班の川名 力氏、
十月二十五日に御逝去されました。
御冥福をお祈りいたします。

編集後記

広報委員会副委員長の川名力さんが、
十月二十五日に亡くなりました。
十月十八日のシルバーの啓発活動のチラシ配布では、私達仲間と元気に活動していました。

二十一日に入院して、二十五日の朝に亡くなったとの連絡を受けたときは、あまりにも急な事で、驚きのあまり言葉を失いました。

副委員長の要職を五年の長きにわたり務めていただきました。
貴方の意思で今後も立派な会報を発行して行きたいと思えます。

何事も積極的に取り組んでいただき、
本当に惜しい仲間を失って残念です。
御冥福をお祈りいたします。
風邪の季節です。

* 広報委員会 *

委員長	菊地 次雄
委員	本多 勝春
委員	渡辺 和彦
委員	根本 恵美